



2015～16 年度  
国際ロータリー会長  
K. R. ラビンドラン

# Weekly Report Niigata



2015～16 年度  
新潟ロータリークラブ会長  
竹石 松次



世界へのプレゼントになろう

2015～16 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC5 月第 1 例会 (2016.5.10) No.3133

- (1) 「君が代」 斉唱  
ロータリーソング「奉仕の理想」 斉唱  
(2) 竹石 松次 会長挨拶

ドナルド・キーン

大正十一年 (1922) ～

アメリカ・ニューヨーク、ブルックリンで生まれたドナルド・キーンは、戸籍上はキーン・ドナルド、そして雅号として鬼怒鳴門の名前を持つが、平成二十三年 (2011) 三月十一日、東北大地震が発生、「今こそ私は日本人になりたい」と、翌年日本国籍を取得した。

ニューヨークで育ったドナルドは、九歳の時に当時仕事で幾度となく大西洋を横断していた父に、憧れの欧州に同行する事を強く希望し、その機会を得ることが出来た。

フランスでは、パリ万国博覧会が開催されており、インドシナ館を訪れ、食事をした時、魚の眼が自分をにらみつけていたことに驚いた。また、生まれて初めての飛行機に乗り、ウイーンからベルリンまで空の旅をし、上空から見る鳥瞰図に思わず震える経験したことを挙げている。

小、中、高校を通じて、成績は常にクラス一番、飛び級を重ねて、十六歳でコロンビア大学に入学、大学のピュリッツァ奨学金で四年間を過ごす秀才であった。

昭和十四年 (1939) 夏、中国人同級生と親しくなり、中国語や漢字を教えてもらった。翌年、タイムズスクエアの本屋で、『THE TALE OF GENJI (源氏物語)』二巻本を買ったことが、日本文学との運命的な出会いとなった。

「アーサー・ウェリーの翻訳は夢のように魅力的であった。どこか遠く美しい世界を鮮やかに描き出していた・・・、私は、それまで、日本は、驚異的な軍事国家とばかり思っていた。」

やがて昭和十二年 (1941)、日本語を本格的に学び始めた。教科書は、ハーバード大学の二人の先生、そのうちの一人が、エドウィン・ライシャワー (昭和三十六年～昭和四十一年、駐アメリカ大使) によって編纂されたものだ。

コロンビア大学の授業では、角田柳作先生との出会いが大きく、日本の思想史、歴史、古典文学を教わったが最初は学生はキーンひとりだった。

昭和十六年十二月八日、日本軍による真珠湾攻撃があり、アメリカの排日運動も激しさを増した。

平和主義であったキーンは、日本語を翻訳することで早

く戦争を終わらせることが出来るのでは、との思いから海軍日本語学校に志願して入学した。

そして、十一ヶ月後には海軍将校としてハワイで、日本軍が残した書類の翻訳、そして時には尋問などに従事することになった。

戦時中、捕虜との関係で、忘れ難い経験をした。収容所に蓄音機を持ち込み、ベートヴェンの「交響曲第三番英雄」S P 盤五枚のコンサートを聞いたことだ。シャワー室で、敵国の捕虜のため音楽鑑賞会を開き、敵味方に分かれていた状況の中で、一瞬の憩いの場を演出した。若い兵士たちとの思い出のシーンであった。

アッツ島、キスカ島、沖縄の作戦にも参加し、多くの犠牲者を伴った戦争と対峙した。

昭和二十年 (1945) 十二月、待望の来日を果たすことになった。約一週間の滞在であったが、終戦直後の日本の風景を自身の眼で確かめることができ、また捕虜から託された手紙を家族に届ける行脚であった。

その後、コロンビア大学に復学、昭和二十三年 (1948)、イギリスのケンブリッジ大学に移り、日本文学の研究を続けた。

昭和二十八年 (1953)、三十一歳で念願の日本留学を果たした。京都市東山区の今熊野に下宿し、京都大学助教授であった永井道雄 (後の文部大臣) に出会った。

永井とは、終生の友となり、文学だけでなく政治などの現実に眼を向けることを教えられた。また、昭和二十九年 (1954) の三島由紀夫との出会いも、大きな出来事であった。

日本とニューヨークを行き来する中で、三島との交友は信頼関係の醸成となって行く。

昭和四十五年 (1970) 十一月二十五日の、東京市ヶ谷での三島由紀夫自決は、世界に衝撃を与えた。三島から最後の手紙を受け取ったのは、自決後のことで、

「小生たうたう名前どおり魅死魔幽鬼夫 (みしまゆきお) になりました。小生の行動については全部わかっていただけると思い、何も申しません。ずっと以前から小生は文士としてではなく、武士として死にたいと思っていました」

とあり、三島が如何にキーンを親友としていたかが判る手紙である。

また、昭和五十七年（1982）、司馬遼太郎の推薦により、朝日新聞社客員編集委員となり、やがて、「百代の过客」「日本人の質問」など評論や随筆を掲載し、読売文学賞などを受賞する。

その後、「明治天皇」「足利義政と銀閣寺」「渡辺崋山」「正岡子規」などを相次いで上梓する。

平成十九年（2007）、七月、新潟県中越沖地震が発生する。キーンはその頃、偶然の出会いで知った浄瑠璃の三味線弾き、上原誠己に或る浄瑠璃本を示し、その本の復活上演を提案した。それが「越後國柏崎弘知法印御伝記」だった。この浄瑠璃本は、キーンの友人で、早稲田大学名誉教授の鳥越文蔵によって、昭和三十七年（1962）に大英博物館で発見された。

日本でも存在を確認されていない1695年頃の貴重な本であった。物語は、長岡市寺泊の西生寺の、実在の僧侶弘智法印にまつわる伝説をもとに、荒唐無稽な虚構を加味した高僧の一代記である。

平成二十一年（2009）、柏崎で、人形浄瑠璃文楽座で二十五年間経験を積んだ新潟市の上原誠己、人形は佐渡の西橋健を中心とした「越後猿八座（えちごさるはちざ）」によって実に三百年ぶりに復活上演され、翌年には東京でも上演された。

このことが契機となり、平成二十四年（2013）九月、柏崎市諏訪町に「ドナルドキーンセンター柏崎」を、公益財団法人ブルボン吉田記念財団が開館した。

ここでは、ニューヨークの書齋と居間がそのまま再現され、谷崎潤一郎、川端康成、阿部公房、三島由紀夫、司馬遼太郎等の資料が展示されている。

「これまでの生涯の大半を日本に捧げてきた私にとって、これにまさる喜びはありません。これまで多くの偉大な優れた先人たちや私の同僚後輩たちの皆が、日本や日本文化を愛し、研究し紹介し続けてきた地道な歩みを賜物です。」

ドナルド・キーンは、開館の喜びを語っている。

平成十四年（2002）、文化功労者、平成二十年（2008）、文化勲章受章等多くの賞を受賞する。

平成二十四年（2012）三月、東日本大震災（2011）、で失意の日本人を励ますために、日本国籍を取得「鬼怒鳴門（キーン・ドナルド）」となる。その前の年に、人形浄瑠璃で三味線を担当した上原誠己を養子に迎え、日本（東京都北区）で生活を送っている。

平成二十四年（2014）柏崎市名誉市民に迎えられる。

### (3) 100%出席バッチの贈呈

仙石 正和君 2年 龍田 晃一君 2年  
高橋 秀樹君 15年

### (4) 誕生日お祝い贈呈（6名）

### (5) 結婚記念日お祝いの紹介（16名）

### (6) 各種ご寄付の発表

#### 青少年育成基金寄付発表（吉田幹事）

高橋 義明君 樋熊 紀雄君

### (7) ニコニコボックス紹介

・細野 義彦君 結婚50年目の記念日にお花頂きありがとうございます。2人共健康での金婚式感謝しニコニコします。

・秋山 博一君 結婚記念日の御花ありがとうございました。記念日は忘れていませんでしたが、お花が送られてくることを忘れていて、連休旅行に出かけたので花を受け取ったのは4日後でした。枯れてなくて良かったです。また、ちょいちょい出て来るゆるキャラ「えちゴン」ですが、ゆるキャラグランプリ春の選抜でみごと全国3位となりました。ダブルでニコニコします。

・武宮 健二郎君 弊社は、本日2時半より、アグリパークにて、農業応援ファンド（愛称：うるおいの大地）の寄付贈呈式を開催致します。この地域応援ファンドは、新潟市が農業特区に指定されたときに我社も微力ながら貢献したいとの思いからスタートした全国で初めての農業応援ファンドです。販売開始から1年が経過し、この度、日本で初めての公立教育ファームを運営しているアグリパークに、パイプハウス（270万相当）を贈呈することが出来ました。本当に、ニコニコしています。

### (8) 石本隆太郎さんへ米山功労者第3回マルチプル感謝状贈呈

### (9) 会員スピーチ「江戸時代末期の粋な話」

フリーランス内科医 横山 芳郎君

### (10) 5月10日例会の出席率 68.06%

会員数99名（出席免除会員 9名）

出席者64名（出席免除会員5名を含む）

(2週間前メーク後 85.57%)

5月24日の例会予定

卓話「日本人の忘れもの」

北方文化博物館館長 伊藤 文吉氏

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

## 5月10日 理事会報告 出席者 11名

- 1 会長挨拶
- 2 入会推薦者について=承認
  - ・損害保険ジャパン日本興亜(株) 理事  
新潟支店長 山田 治伸君  
(推薦者 竹石 松次君・近藤 正典君)
  - ・SMB C日興証券(株)新潟支店長 早田 芳広君  
(推薦者 竹石 松次君・町田 智君)
- 3 NST 新潟総合テレビ 常務取締役  
高橋 義明君の退会届について=承認
- 4 5月のプログラム=承認
  - 5月10日 会員スピーチ  
「江戸時代末期の粋な話」  
フリーランス内科医 横山芳郎君
  - 5月17日  
卓話「私とキーン先生の出会い」  
ドナルド・キーン・センター柏崎  
公益財団法人 ブルボン吉田記念財団  
理事 吉田 真理氏
  - 5月24日 卓話「日本人の忘れもの」  
北方文化博物館 館長 伊藤 文吉氏
  - 5月31日 会員スピーチ  
大和ハウス工業(株)新潟支店支店長  
井原 健至君
- 4 その他
  - ・5月17日のクラブアッセンブリーに竹石会長、  
7RC会長幹事会には吉田幹事が出席。
  - ・熊本義捐金は合計20万円として振込み。不足分は  
クラブ負担。
  - ・5月24日の伊藤文吉氏の卓話の様子はVTRで撮  
影する。
  - ・浪江RCとの友好クラブ締結式は6月21日を目途  
に折衝中。
  - ・浪江写真展関連事業を写真集にまとめる。山田広報  
委員長に制作を依頼。
  - ・6月21日の卓話は人間国宝の伊藤赤水氏を予定。